

平成21年度一校一國運動活動状況報告書

青葉区

新石川小学校

対象国 タンザニア

- ・活動時期 12月1日(火)
- ・実施単位 3学年(児童112人)

(実施状況報告)

3年生児童にとってタンザニアは場所もどこか分からない遠い外国の国であった。今回岸本さんにはまず、タンザニアの自然、文化、歴史、食べ物、気候についてパワーポイントや現地の写真を活用しての講義をしていただいた。こどもたちは興味津々といった面持ちで集中して岸本さんの話に耳を傾けていた。



(タンザニアの食文化「ウガリ」の実演)

その後、岸本さんとシエマさんにはタンザニアでは親しみのある、「ウガリ」という食べ物の調理を実演していただいた。ウガリはトウモロコシの粉を水で練って加熱したもので、こどもたちは食文化の違いにとっても驚いていた。

※タンザニアの伝統衣装を着て、シエマさんのお手伝いをする子ども達。



※ウガリを調理するシエマさん
加熱中は甘いいい香りがしてこどもたちは「食べたい!!」と口々に言っていた。

※ウガリ(中央)と豆のスープ
タンザニア流に床にござを敷き、試食をした。



(ウガリの試食)

残念ながら子ども達には試食をさせられないため、3年生の担任3名が代表して試食をすることになった。タンザニアの伝統衣装を着て、素手でウガリをつかみ、スープにつけて食べた。お餅のような食感で少し食べた後に苦みを感じるのが印象的だった。

※試食をする、担任。こどもたちは「ずるい!!」と、とても羨ましい顔で見ている。

試食の後の質問タイムでは、子どもたちはシエマさんと岸本さんにタンザニアに関する質問をたくさんしていた。

(参加児童の感想)

- ・先生達がうらやましかった!ぼくもトウモロコシの粉を買って、お母さんとウガリを作ってみたいと思った。(男子)
- ・食べ物が全く違っていてすごくびっくりした!(女子)
- ・食事の仕方も違ってとても驚いた。主食も日本はお米なのにタンザニアではトウモロコシだということが分かった。(女子)

※児童の顔が写っている写真は外部に発信しないようよろしくお願いいたします。